

# ニュース のことば



## カーシェアリング

交通問題や環境問題などへの対策の一つとして、「カーシェアリング」が注目を集めています。カーシェアリングとは、何台かの自動車を複数の会員が共同で利用するシステムのことです。レンタカーとは異なり、①限定されたコミュニティの中で会員制度によって運営されること、②半日ないし一日単位ではなく30分程度の比較的短時間から利用できること、③インターネットなどを通じて予約し、無人での貸渡しができること、などが特徴です。カーシェアリングは、1987年にスイスで始まり、ヨーロッパを中心に各国で行われています。わが国でも、インターネットやICカードなどの技術進歩に加え、都市交通問題への関心の高まりなどを背景に各地で導入が進められています。

カーシェアリングの取り組みが広がれば、①自動車を所有するものとしてではなく公共交通に類するものとしてみることで、電車や徒歩などとの間で最適な交通手段を選択するようになるため、社会全体での自動車の総使用量が減少することや、②自動車の総台数が減少するため、空いた土地の有効活用が可能となること、などの効果に加え、③利用者からみると、自動車取得費、保険代、駐車場代などが節約できます。さらに、使用車両を電気自動車やハイブリッドカーにすれば、より環境負荷を低減することができます。

このような意義を踏まえて、中部地域でも、豊田市が2001年3月から「豊田市小型電気自動車共同利用実験」を行っており、現在では17台の小型電気自動車を、法人会員33団体のほか、月間で約100名の個人会員が利用しています。この他、本年10月より、名古屋市内でも専用車10台を利用したカーシェアリング事業「りんくる」がスタートしました。

今後を展望すると、各公的機関でカーシェアリング普及に向けた取り組みが行われており（図表）、こうした助成策などを背景に今後もカーシェアリングの導入は進むものと見込まれます。もともと、自動車に対する所有意識の高さから共有車両の利用が計画ほど伸びずに、事業が実証段階のみで終了してしまうケースもあります。カーシェアリングは環境問題や交通問題の解決に向けた有効な手法の一つであるため、新たな交通手段として定着することが期待されます。

池野 哲宜

図表 カーシェアリング普及に向けた各公的機関の主な取り組み

関係機関	施策（選定年もしくは策定年）	対象事業（事業者）
環 境 省	都市再生環境モデル事業（2004年）	公共交通との連携を想定した大都市型カーシェアリング事業（シーイーブイシェアリング㈱、オリックス・オートリース㈱）他
国 土 交 通 省	国土交通省環境行動計画（案）（2004年6月）	現在のところ具体的な対象事業なし
内閣官房 都市再生本部	全国都市再生モデル調査（2003年）	汐見台団地カーシェアリング予備実験及び実験企画
経 済 産 業 省	環境コミュニティ・ビジネスモデル事業（2003年）	若葉台グリーンカーシェアリング（特定非営利活動法人鳥取発エコタウン2020）
中 小 企 業 庁	中小商業ビジネスモデル支援事業（2004年）	全国カーシェアリング・ネットワーク構築のための実証実験事業（須賀原自動車工業㈱）

（資料）各機関HP、有限責任中間法人カーシェアリング普及推進協議会資料を基に三重銀総研作成